阿蘇の大自然の恵みで暮らす体験

1 対照をなると





プログラムのポイント

①プログラムの狙い

都市と農村の共存関係の構築、自然環境 と生活環境の共存関係の構築を目指した 豊かな生活空間・余暇空間の形成を行い、 グリーンツーリズムの展開による都市と農 村の交流を行います。自然豊かな阿蘇で、農 産物の収穫やそこで暮らす人々との交流な ど数多くの体験メニューを準備しています。

②学習内容

阿蘇の一般家庭に宿泊し、軽作業や夕食の準備を一緒に行ったり、夜には家族とのバーベキュー交流や満天の星空見学、そして入浴と、ゆったりとした時間を過ごします。翌朝には、家族とともに普段の朝食をいただきます。こうしたありのままでの対応が、子どもたちの中に大きな感動を生み出します。



プログラムの流れ

●テーマの設定

- ・農林業のすばらしさや、苦労など農村の生活を体験する。
- ・農産物などの成長過程や食の大切 さを学びます。

2事前学習

- ・阿蘇の農産物を調べる。
- ・受入家庭への自己紹介文を作成する。
- ・火山と農業の関係を調べる。

3事後学習

- ・日本の食糧自給率について考え話し合う。
- ・阿蘇の農産物が身近なスーパーや 八百屋さんに陳列されているか調 べる。

4)参考資料

- ・阿蘇グリーンストックホームページ
- ・阿蘇地域農泊推進協議会ホームページ

トピックス

TOPICS

■阿蘇グリーンストック

グリーンストックでは、平成12年(2000年)より関東・関西の中学校・高校を中心に、ファームステイや農業体験型修学旅行の受け入れを行ってきました。現代社会で希薄になっている『人との温かい交流』や『人との出会いの大切さ』『阿蘇の大自然の中での様々な体験』が貴重な思い出となるこの企画は、学校や旅行社の間でも大変好評です。

また、学校でができなどの旅行後のアンケートでは、一番楽しかった思い出に「ファームステイ」を上げる子が大変多いということで、同じ学校が毎年同じ地区を訪れるなど、年々希望校が増えていました。しかし、2016年4月の熊本地震により大きな被害を受けた阿蘇地域では、道路事情や風評被害もあり

受け入れが激減してしまいました。

このような中、財団では、農水事業を受けて「阿蘇地域農泊推進協議会」を設立し、受け入れ家庭や市町村などと連携しながら、阿蘇地域への農泊推進に向けて取り組んでいます。



実施概要

- ●受入期間/通年
- ●受入人数/300名以内ご相談下さい
- ●受入日数/1泊2日 ※1泊は阿蘇温泉の旅館・ホテルにお泊り下さい
- ●実施場所/阿蘇市、南阿蘇村、南小国町、高森町
- ●講師の派遣/可能

【問い合わせ先】

公益財団法人 阿蘇グリーンストック http://www.asogreenstock.com/ TEL 0967-32-3500/FAX 0967-32-3355 〒869-2307 熊本県阿蘇市小里656-1阿蘇草原保全活動センター内

本番の流れ(例)

- ・財団では大きく4地域で受入れを行っています。
- ・全体集合場所から各地域への移動距離は、遠い地域では車で40分程度かかります。
- ・1 団体80名程度であれば 1 地域での受入れが可能ですが、1 団体100名を越す場合は数地域へ別れる場合がほとんどです。 以下では、最大300名程度の受入れの際の流れを示します。

1日目

- ●16:00…入村式
- ●16:30…各家庭へ(夕食づくり、入浴、団らん)

2日目

- 6:30…起床、朝食づくり、家業体験
- ●10:00…各家庭にお別れ
- ●10:30…退村式

阿蘇におけるファームステイの特徴

- ●千年以上守られてきた草原の景観と暮らし
- ●世界農業遺産、世界ジオパーク認定
- 最も自慢できるのは、受入家庭の皆さん!

ファームステイに関してのお願い

- (1)一般のご家庭なので、病気や冠婚葬祭などで急きょ受け入れが出来なくなる場合があります。そのため直前の変更もありますのでご了承下さい。(その場合の対応としては、当方で別の農家さんを手配いたします。)
- (2)ファームステイ終了後には、生徒たちと学校からのお礼状を必ず出していただきますようお願い致します。
- (3) 家業体験を選択された場合、ありのままの生活体験となりますので、各家庭での体験内容は実施日の時期・気候によって変化します(収穫できる作物があれば収穫体験、雨が降れば室内での体験になるなど)。体験が何になるかを事前にお伝えすることはできかねますのでご了承ください。















